

2016 年度事業計画

- ・ 特定非営利活動促進法が施行（1998 年 12 月）されて、17 年が経過、全国で 50,000 法人、千葉県内では 1,900 法人が設立されています。ただ、団体の活動実態については調査したことがなく未確認状況のままです。今後さらに NPO が地域で活躍するために、どのような課題があり、どのような支援が必要か調査をし、今後の支援プログラムの計画に活かします。
- ・ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業は、7 年目となり、市民に呼びかけて様々な地域づくりプログラムを地道にすすめ県内でも活発なセンターとして注目されています。さらに具体的に成果が見えるよう取り組みを進めていきます。
- ・ 東日本大震災から 5 年が過ぎ、復興が進む中でも被災者、避難者のひとりひとりの生活への不安は深刻さを増しています。千葉県内の避難者支援活動は対象者が減少しても最後まで継続することが必要なのではないかと考えています。また、浪江町復興支援員活動のサポート事業は、NPO 法人 せんだい・みやぎ NPO センター代表理事加藤哲夫さん（故人）のつながりで依頼された「浪江のこころ通信」（町広報紙）の取材活動がきっかけでした。当初は、山形県、千葉県の 2 か所での事業でしたが、全国 10 か所に広がり実施してきました。2016 年度は数か所減少することになりますが、千葉では、千葉モデルとしてすすめていきます。
- ・ 多世代交流拠点「おおなみこなみ」の運営は、1 年半経過し、検見川町近隣地域の方々に理解され始めたところです。NPO クラブが地域づくりの現場を直接運営するはじめての事業です。「居場所づくり」「子ども食堂」「ケアラズカフェ」等、県内でも様々な地域で取組みがされていますが、運営課題も明らかになりつつあります。「おおなみこなみ」では、地域の主体性をどう育てるかが課題となっており、地域の方々の関わりを具体的にコーディネートし、定着するように運営します。

1. 組織の運営

懸案であった認定 NPO 法人の申請をします。このことは NPO クラブにとっては寄付を受けやすく（寄付金控除対象）なることや、地域や団体からより信頼を得て、地域づくりのコーディネート機能を担い、役割を果たすことにつながります。認定 NPO 法人は公益性を担保するためにパブリックサポートテストの要件クリアが必要です。引き続き相談や問合せ対応した団体には、会員加入をすすめること、また、市民参加・協働による地域づくりについての共感を求め寄付募集を行います。新規加入は 10 団体、10 名を目標とします。

- ・ 理事会は、年 5 回開催します。

第 1 回：7 月 14 日（木）・年間事業計画の具体的な進め方について

第 2 回：9 月 15 日（木）・中間報告、下期の進め方について

第 3 回：12 月 15 日（木）・年度末までの計画について

第 4 回：3 月 16 日（木）・今年度報告、次年度計画について

第 5 回：5 月 18 日（木）・第 17 回総会議案について

2. 相談事業・NPO の支援事業

① 相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は常時受け、内容によっては NPO 専門家相談ネットワーク（税理士、社会保険労務士、弁護士）の協力を得て、専門的な相談案件に対応します。
- ・ 県・市町の市民参加・協働、市民活動推進に関わる施策やセミナー企画等について問合せや相談に対応します。
- ・ NPO の資金調達のうち融資について、千葉県ソーシャルビジネス支援ネットワークと連携し、日本政策金融公庫、中央ろうきんにつなぎます。

② 講座事業

- ・新規NPO法人、立上げを準備している団体に向けて、「NPO法人の決算報告書作成講座」(4月)「NPOはじめての会計講座」(7月)を開催します。
 - ・「ちばNPO情報館」への登録、年度ごとの事業報告書類を情報開示、更新をすることは社会的な信用を得ることにつながることを多くの団体に呼びかけ、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金と連携し、「団体情報登録サポート会」を開催します。
- ③ 講師派遣
- ・市民大学、コミュニティカレッジ等(浦安市、佐倉市、四街道市)に講師派遣をします。
 - ・行政職員への市民協働研修等の講師派遣を行います。
- ④ 会計基準普及調査事業
- 千葉県を所轄とするNPO法人は1607団体(H26年度末)、毎年度の事業報告書類を未提出のために督促状を400法人余りに出している実態があります。また、平成24年に施行された改正NPO法では、これまでの「収支計算書」から「活動計算書」に移行することが定められていますが、実態について把握していません。NPO法人の社会的な信用に関わる事項について調査し、適正な運営ができる団体を増やします。千葉県、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金とも連携し、報告書としてまとめ、今後のNPO支援につなげます。

3. 地域づくりのコーディネート事業

- ・四街道市みんなで地域づくりセンターのコーディネーター業務委託事業は、地域課題としてあがっている高齢者の居場所づくりをすすめるため高齢者支援課とも連携していきます。まちの魅力発信の解決に向けて、市民参加・協働をすすめる拠点として、具体的な活動をコーディネートしていきます。「コラボ四街道」(協働事業提案制度)事業のサポートや意欲的な企画提案を増やすこと、地域づくりと市民活動への理解を深め参加を促す「夏休み小学生ボランティア体験」「地域づくり体験プログラム『コラボラ』」等様々な企画を実施します。また、情報誌「minnade」は、企画内容をリニューアルして発行します。
- ・福島県浪江町から関東地域(千葉県、東京一部)に避難されている町民(千葉:552人/299世帯、東京:374人/208世帯)への生活支援をする復興支援員をサポートする浪江町復興支援員活動サポート事業に取り組みます。
- ・浪江町が発行する「広報なみえこころ通信」の取材協力をします。
- ・福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業に応募し、千葉県内に避難している福島県民約3,300人を中心とする東日本大震災による東北からの避難者を支援します。また、県内の支援活動団体間でイベント、サロン開催情報等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁joy」をNo.29から39まで発行し、地域での交流を促します。また、第5回「縁joy東北」を11月に開催します。
- ・「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を受託し、福島県から千葉県内に避難している人たちへの情報提供、相談対応を行うとともに、交流会等を開催します。
- ・多世代交流拠点「おおなみこなみ」を継続開設、介護予防プログラム、町の歴史講座提供や子育ての若い世代のセミナー等を提供し、地域の居場所事業をとおして活性化を図ります。
- ・福祉作業所ものづくり応援プロジェクトは、福祉施設のものづくりを支援するために先進事例の視察や研修会を開催、団体相互の情報交換・交流をすすめます。また、地域創造ネットワークちばが(株)生活クラブ・スピリッツと連携し販路拡大を目的に実施するカタログ掲載事業に協力します。
- ・「SAVE JAPANプロジェクト」は6年目をむかえ、「いきものが住みやすい環境づくり」をめざし、県内の環境団体と協力して実施します。
- ・とみさと市民活動サポートセンターの運営を担うまちづくりコーディネーター育成事業を受託し、新設のセンター運営をとおした育成に取り組めます。業務は相談対応は、まちづくりに関わる市行政、市民、地縁組織、事業者等を対象とし、講座・イベントの企画運営、ニュースレターの

発行、Facebook ページでの団体紹介と支援、小学生、中学生、高校生のまちづくり活動への参加プログラム企画などコーディネーター(市契約職員 5 名) と共に活動します。月に 6 回程度、出向きます。

4. 広報事業

- ・ニュースレター「つぎの一步くん」を 4 回発行(5 月、9 月、12 月、3 月) し、会員に配布する以外に県内市町村市民活動サポートセンターや担当窓口、全国の中間支援組織に送付します。
- ・メールマガジンは月 2 回配信とし、掲載情報は会員、行政、関係機関から広く有益な情報を収集し提供します。
- ・ホームページにある「ちばNPO情報館」の更新を呼びかけます。
- ・ブログ「NPO クラブのゆかいな仲間たち」を適時更新します。
- ・団体の Facebook ページでは、主催するイベント、セミナー等の開催案内を発信し、広く参加を呼びかけます。

5. 他組織、他団体の事務局運営事業

- ・ちばNPO協議会の事務局を受託し、幹事会の開催、セミナーや研修会を実施します。
- ・景観まちづくり協議会(H20 年度協働事業～)の事務局を継続し、県との協働で景観まちづくりフォーラムを開催します。
- ・NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局を受託し、第 6 回ユニバーサル農業フェスタ実行委員会事務局を担当し、12 月 4 日(日)、会場：四街道市文化センターで開催します。また、ユニバーサル農業推進の課題である販路拡大について、(株)生活クラブ・スピリッツのカタログ事業と連携します。

6. 行政、他組織との連携・協力事業

- ・公益財団法人ちばのWA地域づくり基金と連携し、地域づくり団体の掘り起し、マネジメント支援、情報提供等を行います。また、理事として運営に関わり、地域づくりに関する市民・企業・行政等の様々な主体と地域資源をつなぐ基盤づくりに協力します。
- ・生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換をとおして地域づくりに貢献します。
- ・千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支援組織との連携を図り、県内の地域づくり団体との交流、情報交換をすすめます。
- ・中央ろうきん助成プログラム千葉県エリアの予備審査を担当します。
- ・千葉県社会福祉協議会の政策調整委員会に出席し、地域福祉の推進に協力します。
- ・県・市町の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に応えます。関連する施策や制度について市民・NPOの立場から発言し、協働による地域づくりをすすめます。

千葉県県民活動推進懇談会、浦安市市民活動補助金審査会、浦安市協働事業選考委員会、松戸市協働のまちづくり協議会、松戸市「まつど市民大学」設立準備懇談会、白井市市民活動推進委員会、八千代市市民活動団体支援審査会、印西市まちづくりファンド選考委員会、国交省関東地方小委員会道路分科会、習志野市市民協働推進委員会